



エネルギーを考える機会に

太陽光パネルを使った取り組みがさまざまなところで始まっています。エネルギーの地産地消について身近に感じてみませんか。



地域の空き家をつなげる拠点に！ Solar Crew (ソーラークルー)



屋根の上に設置されたソーラーパネルで発電した電力は1階の防災シェルターへと配電されており、災害時にはスマートフォンなどの充電に利用することができる

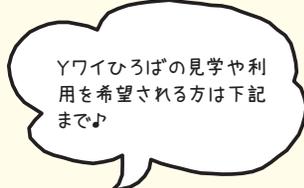


キッチン付きのコミュニティスペース



磯子区にある地域交流拠点「Yワイひろば」は空き家をリノベーションし、1階が地域に開放したコミュニティスペース、2階がシェアオフィスになっている地域交流拠点。地域のみんなで運営協議会を設け、古着市やカレーの会などが有志の手により開催されています。普段身近に使っている場所に太陽光発電装置があり、災害時にはそのまま防災の拠り所になれば安心感がありますよね。

この取り組みは、地域の空き家をみんなでDIYしてリノベーションし太陽光パネルや耐震シェルターを取り付け、平時は地域の人がつながるイベントスペースやシェアオフィスに、災害時は地域の避難所になるようにと活動している「solar crew(ソーラークルー)」の活動の一つ。県内各地に事例があります。地域課題解決の拠点として活用してほしい空き家のオーナーや地域住民、学生、協賛企業を募っています。



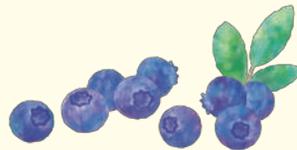
Yワイひろばの見学や利用を希望される方は下記まで♪

地域交流拠点「Yワイひろば」

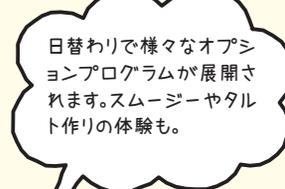
- 住所 磯子区中原4-1-30 ☎045-550-7012
- 連絡先 contact@solarcrew.jp https://solarcrew.jp/



ソーラーパネルの下のブルーベリー農園 さがみこベリーガーデン



キャンプ場が点在する道志川沿いにある。元々は耕作放棄地だった



日替わりで様々なオプションプログラムが展開されます。スムージーやタルト作りの体験も。



相模原市に2023年6月にオープンしたブルーベリーの摘み取り体験農園「さがみこベリーガーデン」は農地の上に隙間を開けて太陽光パネルを設置し、太陽の光を農業と発電でシェアする「ソーラーシェアリング」をおこなっています。現在272kWの発電設備があり、一般家庭約80軒分の電気を生み出しているそうです。

農地には36種類1,100本のブルーベリーがあり、6月上旬～9月上旬までがシーズンで、季節によって、異なる品種の味が楽しめます。暑い時期ですが、ソーラーパネルの下がほどよく日陰になり、快適に過ごすことができます。

農園体験だけでなくとどまらず、食育・自然環境・エネルギーについてなどを体験を通して楽しく学べます。学校や地域団体などの農園スタディツアーも受け付けています。

予約制・会員制農園 1日利用(ワンデー会員)も可能です。ぜひお越しください♪

さがみこベリーガーデン

- 住所 神奈川県相模原市緑区青野原 329 ☎050-3578-3356 (9:00~17:00)
- 開園時間 10:30~15:30 ■HP https://sagamico-bg.org/



ママの健康応援プロジェクト

ベイ★キッズとシュフレ協会コラボ企画
ママの健康を応援する情報をお届けします。



こんな時は、検診 or 診察 どちら？



なんとなく胸に違和感があるけれど、もうすぐ健康診断に行くからその時に診てもらえばいいかな？



ダメダメ！
症状がある人は病院で診察を！

検診は無症状の人が受ける検査。異常があるか無いかを調べるだけで、その異常が何かまでは調べません。「症状がある」と伝え検診を受けると、多くの場合その検査で異常が発見されなくても精密検査を勧められ、結局精密検査をする医療機関を改めて受診しなければならなくなり、もう一度検査をやり直すことに。そして検診は結果が出るまでにとっても時間がかかります。

病によっては、自覚症状が出るまではゆっくりと進行していたものも、一定の症状が出てからは急速に悪化するものもあります。症状がある人は必ず検診ではなく病院で診察を受けてください。(診察とは医師が患者の症状から病状を探る行為のことです)

また、できる限りかかりつけ医を見つけましょう。かかりつけ医にはあなたの情報が蓄積されていきますので、現状を見るだけではなく過去との比較ができるため、より正確な判断がしやすくなります。

◆◆お金の話し◆◆
症状がない人=病気ではない→
自費となります。
症状がある人=病気の可能性がある
→健康保険が適用



応援プロジェクト



子どもと一緒に受診できる
検診の最新情報はこちら♪